

ゆっくるも通信

令和7年11月26日 第19号
留萌市教育委員会
教育支援センター「ゆっくるも」

ハロウィンパーティーをしよう！

今年で3回目となる「ゆっくるも」恒例行事となりました「ハロウィン・パーティーをやろう！」を10月29日（水）に実施しました。ゆっくるも農園で採れた作物を使って昼食を作り、昼食後にはみんなでハロウィンらしいゲームをしようというものです。

今年は農園で採れた作物を使って豚汁とふかしいもを作り、みんなでおいしくいただきました。豚汁作りでは、ゆっくるも農園で採れた玉ねぎやジャガイモを包丁で食べやすい大きさに刻み、大きな鍋の中に入れていきますが、中学生の女子は手慣れたもので、手際よく作業を進めていました。また、今回は4年生の女子と2年生の男子もいたため、2人の安全に配慮したサポートもちゃんとしてくれていました。



ゆっくるも農園で採れたサツマイモは、当初の予定では文化センターの向かいにある見晴公園で炭火をおこして焼きいもにする予定でしたが、雨天のため、残念ながら中止。ふかしいもになりました。焼きいも担当だった中学生男子も豚汁づくりのお手伝いとして玉ねぎを刻んでもらいました。



正午にみんなで会食。特に豚汁は好評だったようで、何杯もおかわりする子もいて、鍋いっぱいあった豚汁があっという間になくなりました。

その後は支援室でレクを行いました。特にハロウィンらしいことはできませんでしたが、普段顔を合わすことのない仲間もいたことから、最初は会話も少なかったけれど、少しずつ打ちとけてきて、お互いの交流が図れたのではないかと思います。

- 学校に行きたくても行けない子どもたちのことについて、教育支援センター「ゆっくるも」にいつでもご相談ください。

(TEL 090-9005-5338)



視察研修に行ってきました！

11月13日（木）、他の市町村の教育支援センターの視察研修をしてきました。視察研修は「ゆっくるも」開設前に行って以来3年ぶりです。今回訪問してきたのは、滝川市適応指導教室「ふれあいルーム」と江別市教育支援センター「ねくすと」。留萌市教育委員会職員2名と指導員3名の併せて5名で行ってきました。どちらの施設も開設が古く、これまでの実践の積み重ねもあることから、今回の視察を通して学ばせていただくことがたくさんありました。

今回の視察研修で私たち指導員が学びたかったことは、主に次の3点について。

① 滝川市、江別市の不登校の状況について

→不登校児童生徒の数の推移、支援センターを活用している児童生徒の数、支援センターを活用してどれくらいの子どもたちが学校復帰をしたかなど

② 教育支援センターの運営体制

→SC、SSW及び他の部署（保健師児童相談所、医療機関など）との連携の進め方と工夫、子どもたちへの支援のためチームとしてどのように機能しているか

③小・中学校、高等学校との連携について

→不登校児童生徒が所属する各小中学校との連携の進め方における留意点、進学先（高等学校等）との情報共有、追跡調査、進学後の支援のための連携の在り方等

今回それぞれの施設の指導員の方々、支援センター担当の市職員の方からたくさん説明していただき、たくさん勉強させてもらいました。また、支援センターの指導員の方々の子どもに対する愛情の深さにも接することができ、私たちも、子どもたちのためにもっと頑張らなければ！と意を新たにしたところです。

これ以外でも、それぞれの施設での特色ある取組についてもお話を伺いました。今後の「ゆっくるも」の新たな取組の参考にさせていただこうと思っています。

1日間「ゆっくるも」をお休みにして視察研修に行ってきましたが、今回学んできたことを今後の「ゆっくるも」運営に生かしていきたいと思います。



左が滝川市「ふれあいルーム」、右が江別市「ねくすと」（どちらもHPより）

留萌市教育支援センター「ゆっくるも」在籍児童生徒数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
男		1					1	2	1	5
女					2	1		2	2	7
計	0	1	0	0	1	1	1	4	3	12

R7.11.20現在